

平成25年度（平成24年度事業分）

教育委員会事務の管理及び執行の  
状況の点検及び評価に関する報告書

平成25年8月

島原市教育委員会

# も く じ

1 はじめに	1
(1) 趣旨	
(2) 点検及び評価の対象	
(3) 点検及び評価の方法	
2 学識経験者の所見	2～4
3 点検・評価結果	
(1) 教育委員会の活動状況	5～7
・教育委員会会議の運営・情報発信	
・教育委員会と事務局との連携	
・教育委員会と市長との連携	
・学校等教育機関に対する支援及び連携	
・教育委員の自己研鑽	
(2) 教育委員会が管理・執行する事務	8～10
・学校教育又は社会教育に関する一般方針を定めること	
・学校その他教育機関の設置及び廃止の決定並びに敷地の選定・変更に関すること	
・県費負担教職員の任免その他進退にかかる内申に関すること	
・県費負担教職員のサービスの監督に関すること	
・教育委員会の任命にかかる職員の任免その他進退に関すること	
・委員会規則の制定又は改廃を行うこと	
・教育委員会の所管に属する委員等の任命又は委嘱に関すること	
・教育関係職員の研修の一般方針を定めること	
・教科用図書採択に関すること	
・学齢児童生徒の就学すべき学校の区域を設定し、又はこれを変更すること	
・教育予算その他議会の議決を経るべき議案の作成について意見を申し出ること	
・学校その他教育機関の工事の計画を策定すること	
・教育に関する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行うこと	
(3) 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務	11～23
・学校教育に関すること	
・社会教育に関すること	
・教育環境に関すること	

## 1 はじめに

### (1)趣 旨

教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条の規定により、毎年、教育に関して学識経験者の知見の活用を図り、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出・公表することとなっています。

島原市教育委員会では、市民に信頼される教育行政の推進を図るとともに課題や取組の方向性を明らかにすることにより、市民の皆様への説明責任を果たし、効果的な教育行政の一層の推進を図っていくため、教育委員会活動の点検及び評価を実施し報告書にまとめました。

また、点検及び評価を行うに当たり3人の学識経験者の所見をそれぞれいただいています。

### (2)点検及び評価の対象

点検及び評価については、平成24年度における「教育委員会の活動状況」「教育委員会が管理・執行する事務」「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」の3項目に分けて行っています。

### (3)点検及び評価の方法

点検及び評価にあたっては、施策・事業の実施状況を明らかにするとともに、今後における課題と対応策について検討しています。

平成25年8月

島原市教育委員会

## 2 学識経験者の所見

### ○ 所見1

- 1 教育委員会の多岐にわたる業務が、着実に実行されている事をまず評価したい。
- 2 公民館で委員会会議を行う時には、学校より関係者へ、公民館より地域の方々へ広報(案内)をして欲しい。市民に信頼される教育行政を図る事になると思います。
- 3 全校への学校訪問により、学校現場の実態把握がしやすく、また、話し合いにより委員会との意思疎通にもつながると思う。
- 4 各学校へ多くの加配職員の配置がされている。これによりきめ細やかな指導がなされると思う。
- 5 全校へ学校司書が配置されているのに、各学校の本の貸し出し数がまちまちである。もっと、学校全体で貸し出し数の増加を図ってほしい。子どもたちに、文字と接し、何かを想像し、何かを感じて欲しい。
- 6 いじめ防止対策として、児童生徒・保護者へのアンケートを(5月、9月、1月)実施されています。毎年、定期的に行って欲しい。
- 7 小・中学校へのALTの配置は評価できます。言葉は耳から入ります。また、外国語への感心を持つことにより、国際感覚を養うことにつながると思います。

平成25年7月31日

伊藤 官治

### ○ 所見2

#### 評価できる点

- 1 教育委員会は、市民に信頼される教育行政の推進を図り、市民への説明責任を果たし、効果的な教育行政の推進を図っている。そのことを、細かく点検・評価して、課題と対応策について検討していることをまず評価したい。
- 2 教育委員会会議運営において、議案等を事前配布し、内容を周知されていることは、課題の早期解決や対応策等の共通理解を図る上で大変重要である。また、会議概要等の情報公開がなされ、開かれた教育委員会として評価したい。
- 3 学校訪問では、年間を通して、全小・中学校で実施されている。児童生徒や教職員の実態、学校の課題等を把握するうえで、意義あるものであり、市教育方針等を着実に推進していくためにも、ぜひ継続してほしい。
- 4 適応指導教室については、県下的にもいち早く開設され、その実績も大である。入級児童生徒への適切な指導、相談等を通して1日も早い学校復帰を切望したい。
- 5 県費教職員の服務管理については、校長会等で適宜適切に行われており、本市での不祥事は皆無である。今後とも指導を徹底して、服務の厳正、危機意識の高揚を全職員に浸透させてほしい。
- 6 教職員の資質・指導力の向上を図るために実施されている教育関係職員の研修は、大変意義あるものである。研修結果を日頃の授業等に生かし、教育効果を高めていただきたい。
- 7 小・中学校の校舎・体育館などの建物の耐震化については、平成24年度で耐震

補強工事が完了した。このことは、県下で最も早く、安全・安心な教育が実施できることであり、大いに評価できる。体育館非構造部材の耐震化についても、計画に沿って、早急に実施してほしい。

- 8 確かな学力を身に付ける教育活動の充実では、授業改善の推進、きめ細かな指導の充実、学びの習慣化の確立が挙げられ、学校訪問等で指導がなされている。
- 9 学習支援が必要な児童生徒に対し学習支援員が配置され、きめ細かな指導の充実が図られている。
- 10 小学校5・6年生に「外国語活動」が導入されたことにより、小学校に外国語活動支援員が配置され、効果的活用がなされている。
- 11 特別支援教育支援員が各小・中学校に配置され、個別に支援の必要な児童生徒の指導に当たり、特別支援教育の推進がなされている。
- 12 小児生活習慣病予防のため医師会と連携して、専門的な保健指導がなされている。今後も続けて欲しい。

#### 改善を要する点

- 1 「心の教室相談員」や「スクールカウンセラー」が配置されているが、相談員、カウンセラーのさらなる活動や他機関とのきめ細かな連携をとってほしい。
- 2 ALTを小学校に週1回程度派遣しているが、「外国語活動」の充実のためにも、可能な限り回数を増やして欲しい。
- 3 特別支援教育の充実への取組については、学校により温度差があるように思う。特別支援教育コーディネーターを中心に、学校の実態に即した指導を積極的に展開して欲しい。

平成25年7月31日

松尾 好則

#### ○ 所見3

- 1 昨年より、「島原市教育振興基本計画」に基づき、着実に執行され、綿密に細かく点検・評価がなされている事がわかる。
- 2 教育委員会会議開催日程を、市のホームページへの掲載や、市政記者クラブへ情報提供を行うことは、オープンでいいことだと思うので継続してほしい。
- 3 傍聴者に配慮し、会議を白山公民館と安中公民館で2回開催されているが、他の地区でも開催してほしい。
- 4 学校訪問は、学校現場の的確な実態把握につとめ、積極的な指導を通し、教職員の資質向上に努めていることがわかる。
- 5 学校施設の耐震化においては、平成24年度に耐震補強工事が完成しており、全国的にみても早い対応で素晴らしい。
- 6 いじめや不登校生徒の実態は、なかなか表には出てこないが、どこの学校にもある問題であり、学校、保護者、子どもの信頼関係の確立が重要だと思う。
- 7 確かな学力を身につける教育活動においては、授業に様々な工夫がなされ、小・中間の教職員交流研修等により指導力の向上が図られている。
- 8 国際交流活動においては、中国上海に訪問交流研修へ行くことで、英語で交流を行い、歴史や文化を知ることは意義深いですが、今後は、交流先の上海等から島原へ来

島しての交流があってもいいのではないかと思う。

- 9 学校と地域社会の連携に関して、現在、小・中学校では、運動会が5月に開催されるように変わってきているが、杉谷、安中、高野地区では、学校と地域が合同で運動会を開催しており、春の開催は難しいのではないか。
- 10 青少年健全育成協議会活動では、各地区で様々な社会教育活動が積極的になされており、素晴らしいことだと思う。

平成25年7月31日

太田 道明

1 教育委員会の活動状況

大項目		教育委員会会議の運営・情報発信
中項目	小項目	点検・評価
(1) 教育委員会会議の開催回数等	①教育委員会会議の開催回数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会会議は、原則として毎月初旬に定例会を、また必要に応じて臨時会を開催し、議案及び懸案事項などの審議を行っている。</li> <li>平成24年度は、定例会を12回、臨時会を2回開催した。</li> </ul>
	②教育委員会会議での審議状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条及び「島原市教育委員会の権限事務の一部を教育長に委任し又は臨時に代理させる規則」第2条の規定に基づき、平成24年度は合計で31の議案について審議を行った。</li> <li>・審議を要する事項は、所定の時期に取り上げている。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>(ア) 教育委員会規則等の制定及び改廃 . . . . . 3件</li> <li>(イ) 教職員等の人事に関すること . . . . . 3件</li> <li>(ウ) 条例等に定めのある附属機関等の委員やその他委員等の委嘱及び任命等 . . . . . 21件</li> <li>(エ) 表彰、指定に関すること . . . . . 2件</li> <li>(オ) 意見の申出に関すること . . . . . 1件</li> <li>(カ) 平成24年度教育委員会の権限に属する事務の管理・執行状況にかかる点検及び評価 . . . . . 1件</li> </ul> </li> </ul>
	③教育委員会会議運営上の工夫等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議案等については、事前配付し、内容について周知することで委員会での審議の活発化を図っている。</li> <li>・各担当グループによる事業の実績・予定報告や付議案件の詳細説明などを行うとともに、今日的な教育課題などについて意見交換や協議を行い、今後の対応策等について共通理解を図っている。</li> </ul>
(2) 教育委員会会議の傍聴者の状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会会議の開催日時等については、市のホームページへの掲載と市政記者クラブへの情報提供を行い周知に努めた。</li> <li>・傍聴者に配慮して会議を公民館で2回開催した。 (白山公民館1回、安中公民館1回)</li> <li>・平成24年度の会議における傍聴者は無かった。</li> <li>・開催日時のみでなく、議事等の事前周知を行っている。今後もホームページ等を利用し、随時情報発信に努めたい。</li> </ul>
(3) 議事録の公開、広報・広聴活動の状況	①議事録の作成・保管	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議毎に、報告事項、議案及び審議内容を記した議事録を作成し、永年保存文書扱いとして管理している。</li> </ul>

## 1 教育委員会の活動状況

中項目	小項目	点検・評価
	②議事録の公開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原則公開としており、情報公開請求にも対応できるよう議事録を整備しているが、平成24年度中の公開事例はなかった。</li> <li>・概要及び議案書等について、市のホームページへ掲載した。</li> </ul>
大項目	教育委員会と事務局との連携	
中項目	小項目	点検・評価
(1)教育委員会と事務局との連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>・懸案事項等が発生した場合、随時教育委員へ連絡を行うとともに、定例会において経過報告・協議を行い、現状把握や解決に向けた方策等について共通理解が得られるようにしている。</li> <li>・定例会において、「教育上の諸問題」について委員、事務局双方から問題提起し、意見交換や協議を行うことで教育課題に係る共通認識を持ち、教育委員と事務局との連携を図っている。</li> </ul>
大項目	教育委員会と市長との連携	
中項目	小項目	点検・評価
(1)教育委員会と市長との連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新年度当初予算重点事項要望書を教育委員長から市長へ手渡す機会を毎年1月に設定している。</li> <li>・その折に予算要望項目のみならず教育全般について市長と意見交換をしている。</li> <li>・この他にも、必要な事項については、双方から随時、協議を行っている。</li> </ul>
大項目	学校等教育機関に対する支援及び連携	
中項目	小項目	点検・評価
(1)学校訪問		<ul style="list-style-type: none"> <li>・全小・中学校を対象に春の学校経営訪問8校（半日）、秋の学校巡回訪問6校（終日）を実施した。</li> <li>・各学校の課題について校長から直接聴取し、その解決に向けた方策について適宜指導助言を行った。</li> </ul> <p>今後も全小・中学校を対象として、毎年実施し、教職員の資質向上に努め、学力向上を目指した本市学校教育の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この他、各学校の行事には積極的に出席するように努めている。</li> </ul>

1 教育委員会の活動状況

中項目	小項目	点検・評価
(2) 他所管施設への訪問	① 適応指導教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入級児童生徒の実態把握や相談員と意見交換のために適宜訪問し、指導助言をした。</li> <li>・通級指導を受けていた中学3年生2名は高等学校に進学した。</li> </ul>
	② 給食調理場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食調理場との連携を図り、学校給食の安全管理に努めた。</li> <li>・五小で学校給食検討委員会を開催し、給食試食と意見交換を行った。</li> </ul>
大項目	教育委員の自己研鑽	
中項目	小項目	点検・評価
(1) 研修会への参加状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>・長崎県市町村教育委員会連絡協議会主催の研修会（長崎市）及び研究大会（諫早市）に参加し、分科会ごとのテーマに沿って各市町委員と意見交換ができ有意義であった。</li> <li>・教育長が、九州都市教育長協議会研究大会（宮崎市）に参加し、各市教育長との意見交換や懸案事例の検証を行っており、また、その内容についても定例会において各委員へ報告し情報等の共有を図った。</li> </ul>
(2) 先進地への視察研修		<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年11月、「文化財の保存・活用」をテーマに先進地視察を行った。</li> </ul> <p>本市で取り組んでいる島原城石垣の修復、伝統的建造物群保存対策、松平文庫の保存・活用に関連し、佐賀県唐津市（唐津城石垣修復）、福岡県柳川市（柳川古文書館）、佐賀県鹿島市（肥前浜宿伝統的建造物群保存地区）の視察を行った。</p>
(3) 自己研修		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種研修大会等に参加したり、教育関係刊行物などを購読し、情報の収集に努めている。今後も、事務局職員との意見交換を行い、各自の資質向上に努めていく。</li> </ul>

2 教育委員会が管理・執行する事務

大項目	学校教育又は社会教育に関する一般方針を定めること	
中項目	小項目	点検・評価
(1)「島原市教育方針」の策定		・「島原市教育振興基本計画」(平成24～28年度)の策定時に、「島原市教育方針」と「島原市教育努力目標」を改定した。
大項目	学校その他教育機関の設置及び廃止の決定並びに敷地の選定・変更に関すること	
中項目	小項目	点検・評価
		・平成24年度は、本項目に該当する事例はなかった。
大項目	県費負担教職員の任免その他進退にかかる内申に関すること	
中項目	小項目	点検・評価
(1)校長への意見聴取		・2回にわたる教職員実態調査(ヒアリング)を行うとともに、必要に応じて各校長への意見聴取を実施した。
大項目	県費負担教職員のサービスの監督に関すること	
中項目	小項目	点検・評価
(1)校長会、教頭会、各種研修会における指導		・毎月の校長会、教頭会、各種研修会等において不祥事に関する指導助言を行った。
大項目	教育委員会の任命にかかる職員(県費負担教職員を除く)の任免その他進退に関すること	
中項目	小項目	点検・評価
		・任免については、4月の定例教育委員会の中で報告を行った。
大項目	委員会規則の制定又は改廃を行うこと	
中項目	小項目	点検・評価
		・法の改正や施設管理運営上の変更等に伴う委員会規則等の制定・改廃については、教育委員会会議において審議し、実施した。 ○規則の改正 3件 (7)島原市立小・中学校管理規則 (4)島原市立小・中学校の通学区域に関する規則 (9)島原市立学校施設整備の使用に関する規則

2 教育委員会が管理・執行する事務

大項目	教育委員会の所管に属する委員等の任命又は委嘱に関すること	
中項目	小項目	点検・評価
		<p>・各種審議会等の委員の適任者として推薦があった者について、定例教育委員会において審議を行い、任命又は委嘱した。</p> <p>(ア) 各種審議会等委員の委嘱及び任命 8件</p> <p>(イ) 社会教育指導員 1件</p> <p>(ウ) 部活動外部指導者の委嘱・解職 8件</p> <p>(エ) 学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱・解職 4件</p>
大項目	教育関係職員の研修の一般方針を定めること	
中項目	小項目	点検・評価
		<p>・資質・指導力の向上を図るため以下の3つの研修を行った。</p> <p>(ア) 教職員派遣研修 3名</p> <p>(イ) 若手教職員の社会体験活動 教職経験2～5年目の教職員対象</p> <p>(ウ) 教育講演会 全教職員対象</p>
大項目	教科用図書採択に関すること	
中項目	小項目	点検・評価
(1) 島原・雲仙・南島 原地区採択協議会に おける連携		<p>・平成24年度は採択業務がなかった。</p>
大項目	学齢児童生徒の就学すべき学校の区域を設定し、又はこれを変更すること	
中項目	小項目	点検・評価
		<p>・平成24年度中の設定・変更は行わなかった。</p> <p>・町名及び町界の整理により「通称新建」が「新建」に、「通称浦ノ川」が「浦の川」に変更になったことに伴い、「島原市立小・中学校の通学区域に関する規則」の改正を行った。</p>
大項目	教育予算その他議会の議決を経るべき議案の作成について意見を申し出ること	
中項目	小項目	点検・評価
		<p>・平成25年度当初予算要求における重点要望事項について協議を行い、市長へ次の5項目の要望書を提出した。</p> <p>(ア) 小・中学校施設、設備の充実</p> <p>(イ) 学校教育の充実</p> <p>(ウ) 文化財整備事業の充実</p> <p>(エ) 社会教育施設、設備の充実</p> <p>(オ) 職員の資質向上</p>

## 2 教育委員会が管理・執行する事務

大項目	学校その他教育機関の工事の計画を策定すること	
中項目	小項目	点検・評価
(1) 学校施設の耐震化計画		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学校の校舎・体育館などの建物の耐震化については、平成24年度で耐震補強工事が完了し、定例教育委員会において現状を報告した。</li> <li>・小・中学校体育館非構造部材の耐震化の実施計画を作成した。(平成25～27年度の3か年)</li> </ul>
大項目	教育に関する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行うこと	
中項目	小項目	点検・評価
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年度の事業について点検及び評価を実施し、9月議会において報告するとともに、ホームページで公開した。</li> </ul>

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

大項目	学校教育に関すること																																			
中項目	小項目	点検・評価																																		
(1) 心の教育の充実	①道徳教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理職や副担任による道徳の授業を実施した学校は下表のとおりである。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">職名等</th> <th colspan="2">小学校</th> <th colspan="2">中学校</th> <th colspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>実施</th> <th>未実施</th> <th>実施</th> <th>未実施</th> <th>実施</th> <th>未実施</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>校長</td> <td>7</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>11</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>教頭</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>9</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>副担任</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>「長崎っ子の心を見つめる教育週間」では、「生命」をテーマとした道徳の授業を全学校で実施・公開した。</li> </ul>	職名等	小学校		中学校		合計		実施	未実施	実施	未実施	実施	未実施	校長	7	2	4	1	11	3	教頭	6	3	3	2	9	5	副担任			2	3	2	3
	職名等	小学校		中学校		合計																														
		実施	未実施	実施	未実施	実施	未実施																													
	校長	7	2	4	1	11	3																													
	教頭	6	3	3	2	9	5																													
副担任			2	3	2	3																														
②人権学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権週間の取組については、各学校標語作りや人権宣言、ゲストティーチャーによる講話等、工夫を凝らした取組を行っている。</li> </ul>																																			
③平和学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>全小・中学校で8月9日の登校日に平和集会を開催した。</li> <li>(7) 校長講話 (イ) 平和学習の発表</li> <li>(ウ) 平和宣言 (エ) 平和に関する歌</li> <li>8月9日以外の平和学習</li> <li>(7) 小学校4年生の社会科見学</li> <li>(イ) 各教科における平和教材を使った学習</li> </ul>																																			
④読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>全小・中学校に配置した「学校司書」を活用しながら、貸出冊数の増加を図っている。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>市の目標</th> <th>達成率</th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H28年度)</td> <td>70%未満</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">小学校 120冊</td> <td>80%未満</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>90%未満</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中学校 12冊</td> <td>100%未満</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>100%以上</td> <td>3</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	市の目標	達成率	小学校	中学校	(H28年度)	70%未満	1	2	小学校 120冊	80%未満	3	2	90%未満	1	0	中学校 12冊	100%未満	1	1	100%以上	3	0													
市の目標	達成率	小学校	中学校																																	
(H28年度)	70%未満	1	2																																	
小学校 120冊	80%未満	3	2																																	
	90%未満	1	0																																	
中学校 12冊	100%未満	1	1																																	
	100%以上	3	0																																	
⑤文化・芸術教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>北村西望賞教育美術展、中学校美術展、夏休み親子粘土教室、市民音楽祭等を実施し、文化・芸術教育の充実を図っている。</li> <li>中学校美術展は平成25年度から北村西望賞教育美術展に統合する。</li> </ul>																																			

## 3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点検・評価
	⑥生徒指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導担当者会を年に2回開催し、いじめ、不登校、問題行動等への対応や解決のあり方を協議した。</li> <li>・児童生徒の悩みや相談に対応するため、全中学校に「心の教室相談員」、全中学校及び小学校2校に「スクールカウンセラー（県教委事業）」を配置して対応した。</li> <li>・適応指導教室「ひまわり教室」において、不登校児童に対する支援を行った。</li> <li>・いじめ防止対策として、児童生徒・保護者用アンケートを、年に3回（5月・9月・1月）に実施した。 ※児童生徒用は各学校が、保護者用アンケートは市教委が作成した。</li> </ul>
(2) 確かな学力を身に付ける教育活動の充実	①授業改善の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に学習に取り組み、問題を解決する力を育成するために、各小・中学校において、体験的な学習や基礎的・基本的な知識・技能を活用した問題解決的な学習を取り入れた授業を実践した。</li> <li>・全小・中学校へ学校訪問を行い、指導助言をすることで授業改善の推進に努めた。</li> </ul>
	②きめ細かな指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各小・中学校において、学習内容、児童生徒の興味・関心、達成度等に応じた少人数指導やTT（チームティーチング）を行い、きめ細かな指導の充実に努めた。</li> <li>・授業中、個別の支援が必要な児童生徒に対し、学習支援員を活用した指導の充実に努めた。</li> </ul>
	③学びの習慣化の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上には学習規律の定着が欠かせないことから、学校ごとに設定している共通のきまりをもとに学習規律の確立に努めるよう、指導を行った。</li> </ul>

## 3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点検・評価
(3) 地域との連携・協力による学校づくりの推進	①地域の教育力を生かした体験学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場体験学習（小・中学校） 職場見学や職場体験学習を行い、感謝の気持ちをはぐくみ、キャリア教育の充実を図った。</li> <li>・福祉体験学習（中学校） 高齢者・障害者施設等を訪問し、社会貢献しようとする意欲を養った。</li> <li>・野外宿泊体験学習（小・中学校） 県立千々石少年自然の家や国立諫早青少年自然の家で、ジオパーク学習も取り入れ、宿泊体験学習を実施した。</li> <li>・島原市退職校長会作成の「教育支援人材バンク一覧表」を活用し、地域人材を生かした教育活動を行った。</li> <li>・地域学習のための社会科副教材である「わたしたちの島原市」の改定を行った。</li> </ul>
	②信頼される学校づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校は自己評価や学校関係者評価等によって、学校運営の改善を図っている。また、地域の人たちからなる学校支援会議を活用し、子育て支援に取り組んだ。</li> </ul>
(4) 資質・指導力の向上	①教職員研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定例管理職研修会、教務主任研修会、研究主任研修会、生徒指導担当者研修会等で、専門的な研修を行い、教職員の資質・指導力の向上を図った。</li> </ul>
	②校内研修体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学校14校の半数を毎年順次指定し、最終年度には研究の成果を発表している。各学校はそれぞれの学校課題を解決するために、研究テーマを設け教師の指導力や授業力の向上を図った。</li> </ul>
	③校種間連携の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼保小連携を推進し、小1プロブレムの解消に努めた。</li> <li>・中学校区内の小学校と中学校が、相互に授業を公開したり、中学校の英語教諭が小学校に出向いてアドバイスを行った。</li> </ul>

## 3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点検・評価
(5) 国際化への対応	①国際交流活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生15名を選考し、中国（上海市）を3泊4日で訪問した。</li> <li>・現地の中学生と英語で交流を行ったり、歴史・文化施設を見学した。</li> <li>・3回の事前研修会をとおして、個々の生徒の目的意識を高めて参加させたことが訪問交流研修の充実につながった。</li> <li>・帰国後の報告会を行った。</li> </ul>
	②ALT・支援員の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALT（外国語指導助手）を4名配置している。中学校には学校の規模に応じて週に2～3回、小学校には週に1回程度計画的に派遣し、授業で活用した。</li> <li>・小学校5・6年生に「外国語活動」が導入されたことにより、平成24年度から、外国語活動支援員を小学校に1名配置した。</li> </ul>
(6) 食に関する指導の充実	①食に対する理解と感謝の心の醸成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各小・中学校において「食に関する指導の全体計画」に基づき、朝食の大切さや食事のマナーについて指導を行った。</li> <li>・野菜等を栽培・収穫・調理し、試食するという一連の体験活動をとおして、「食事」にはたくさんの人の手がかかっていることを理解させ、それに対する感謝の念をもたせることができた。</li> </ul>
	②家庭・地域との連携による食育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各小・中学校で「給食だより」を毎月発行し、学校給食の状況や食に関する情報を提供し、家庭の食に関する意識を高めることができた。</li> <li>・家庭や地域と連携して「弁当の日」や「お魚教室」などを開催し、食育を推進することができた。</li> </ul>
(7) 特別支援教育の推進	①一人一人に応じた指導・支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園、保育園と小学校が互いに訪問し、学習や生活の様子を観察したり、話し合ったりすることで支援が必要な子どもの情報の共有化を図った。</li> <li>・中学校入学時における連絡会等をとおし、個別に支援の必要な児童の情報を確実に引き継いだ。</li> <li>・就学相談においては、市保健センターとの連携を深め5歳児健診等の情報から適切な就学につなげた。</li> <li>・各小・中学校において、個別の教育支援計画を作成するよう指導した。</li> </ul>

## 3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点検・評価
	②指導体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育コーディネーターを中心に校内委員会を開催するよう指導し、個別な支援の必要な児童生徒に対する共通理解を図った。</li> <li>・特別支援教育コーディネーター研修会を、年間3回実施し、コーディネーターの資質向上を図った。</li> <li>・特別支援教育支援員を各小・中学校へ配置し、個別に支援の必要な児童生徒の指導にあてた。</li> </ul>
	③関係機関との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学指導においては、市保健センターの5歳児健診へ各小学校の特別支援担当職員を参加させ、就学前の子ども実態把握に努めた。</li> <li>・特別支援学校へ授業参観や発達検査を依頼し、児童生徒への適切な指導方法への助言を受けた。</li> <li>・県教育センターの巡回教育相談を活用し、児童生徒の指導の充実を図った。</li> </ul>
(8) 健やかな体の育成	①学校体育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内全児童生徒の体力について、市教委が分析し、その結果を受けて、全小・中学校が「体力向上アクションプラン」を作成し、実施した。</li> <li>・子どもの体力向上研修会（体育実技講習会）を開催し、指導力・授業力の向上を図った。</li> <li>・中学校体育連盟の会議や小学校体育連盟の会議の機会を生かして、学校体育に関する指導を実施した。</li> </ul>
	②部活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中体連会議の機会をとおして、部活動のあり方や指導力向上に対する指導を実施した。</li> <li>・外部指導者の委嘱は、各校長の推薦を受けて市教委が行い、校長をとおして、体罰防止等の指導を行った。平成24年度外部指導者登録者数59名</li> </ul>
	③健康教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小児生活習慣病予防検診 小学校4年生を対象として、市医師会と連携し、専門医による保健指導を行った。</li> <li>・養護教諭部会・保健主事部会を定期的に行い、保健・安全に関する研修会を行った。</li> <li>・薬物乱用防止教室 薬物の害や怖さ、進められたときに断る勇気の大切さを理解させるため、各学校で実施した。</li> </ul>

## 3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点検・評価
(9) 防災教育の推進	①防災計画の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成3年の普賢岳災害から学んだ「生命・きずな・感謝の心」の精神を生かした様々な取組を、6月3日を「いのりの日」として、各学校において実施した。</li> <li>東日本大震災の教訓を生かし、防災教育の見直しを行った。</li> </ul>
	②防災学習の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>噴火災害における土石流・火砕流等、島原市で発生した災害の画像や映像を取り入れた補助教材である地域防災教育資料の活用を推進した。</li> <li>5・6年生の社会科や理科、総合的な学習の時間で活用できる教材で、その活用方法について市教育研究会視聴覚部会で、理科の授業実践を含めた研修会を実施した。</li> </ul>
	③「いのりの日」の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学校で行われた取組内容は以下のとおりである。学習発表、ビデオ視聴、追悼の会、追悼演奏語り部による講話、道徳授業公開、校長講話全校集会、ジオパーク事務局員講師による講話</li> </ul>
	④ジオパークに関する取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>導流堤、砂防ダム、定点の観察や社会科副読本「私たちの島原市」での学習、雲仙岳災害記念館の講師による現地見学説明など、各学年の発達段階に応じたジオパーク学習を全小・中学校で行った。</li> <li>それらの学習は、社会科、理科、総合的な学習の時間及び特別活動など各教科・領域の教育課程に位置づけるよう指導した。</li> </ul>

## 3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

大項目		社会教育に関すること
中項目	小項目	点検・評価
(1)「島原市ココロねっこ運動」の推進	①青少年の体験活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週末余暇活動は6地区で行われ、年に数回の体験活動などが行われた。</li> <li>・通学合宿を市内8地区で実施し、計124名の児童が参加した。各種団体ボランティアスタッフやもらい湯提供家庭との交流が図られた。</li> <li>・島農アニマルキッズは、土曜日に4回行われ、22名の児童が参加した。高校生の指導のもと、動物のお世話の体験をした。</li> <li>・放課後子ども教室は、放課後の子どもの居場所づくりを目的に、次の3つを実施した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>(ア) 稽古館（古典の学習） 14名</li> <li>(イ) 寺子屋・武家屋敷（論語の素読） 13名</li> <li>(ウ) くずし字講座（くずし字の読み方） 2名</li> </ul> </li> <li>・島原半島ジオパーク体験は、三会地区（27名）、霊丘地区（54名）、白山地区（128名）、有明地区（30名）で行われた。</li> </ul>
	②子育て支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て広場は、2月に「こどもと学ぶ論語の話」と題した安岡定子氏の講演を実施し、100名の参加があった。</li> <li>・家庭教育学級は、地区ごとに年6回程度の講座が計画され、PTAや青少協などの各種団体が主体となり実施された。</li> <li>・健康教育講座は、地区ごとに計画され、延べ400名の参加があった。</li> <li>・思春期子育て講座は、中学校ごとに計画され、延べ368名の参加があった。</li> </ul>
	③学校と地域社会の連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・杉谷地区、安中地区、高野校区では、学校と地域が合同で運動会を開催している。また、通学合宿、週末余暇活動などにより、学校と地域の連携が図られた。</li> <li>・ひとづくり出前講座は37回の利用があった。</li> <li>・学校支援会議は、各小・中学校で開かれており、地域全体の意見を交換する場となっている。</li> </ul>

## 3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点検・評価
(2) 地域の特性を生かした公民館活動の推進	①地域に密着した公民館運営の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館まつりは全7地区で実施され、日ごろの成果を発表する場となっており、多くの来場者があった。</li> <li>・公民館運営委員会・運営審議会は年2回行われ、運営や要望などを話し合う場となっている。</li> </ul>
	②各種学級・講座の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性学級は、学級生と社会教育指導員で講座内容を決めている。9学級、80講座で延べ約2,000名の参加があった。</li> <li>・高齢者学級は、学級生と社会教育指導員で講座内容を決めている。全7地区、60講座で延べ約1,800名の参加があった。</li> <li>・家庭教育学級は、各地区の青少協・PTA・学校・公民館の代表者で講座内容を決めている。全7地区、60講座で延べ約7,600名の参加があった。</li> <li>・青年教室は、白山・安中地区で行われ、9講座で延べ94名の参加があった。</li> </ul>
	③公民館サークル活動の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各サークルで、工夫や改善を行いながら充実した活動となっている。210のサークルが活動した。</li> </ul>
(3) 社会教育関係団体の育成と活動の推進	①青少年健全育成協議会活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区の青少協は、地区ごとの特色を生かした伝承・伝統行事や週末の余暇活動等を実施した。</li> <li>・朝のあいさつ運動は、各地区の青少協が中心となり、会員が通学路の要所（校門や交差点）に立ち、児童生徒の安全を見守るなど、積極的に行われた。</li> </ul>
	②子ども会活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主運営を働きかけ、ジュニアリーダー研修など独自性のある活動を行った。また役員の自主研修なども積極的に行っている。</li> </ul>
	③各種団体の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・婦人会活動は、有明地区、杉谷地区以外の5地区で行われた。会員数の減少が課題となっている。</li> <li>・白山青年団は活発に活動しており、会員数も微増している。</li> <li>・島原市PTA連合会は、2月に研修会が行われており、また、平成26年度開催の日P長崎大会に向けての話し合いも行われた。</li> </ul>

## 3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点検・評価
(4) 図書館活動の推進	① 図書館活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館司書の専門的知識を生かし、利用者からのリクエストを参考としながら、新規図書等の購入、資料の収集を行った。</li> <li>(ア) 島原図書館(平成24年度末) 蔵書数 113,713冊 視聴覚資料 4,354点</li> <li>(イ) 有明図書館(平成24年度末) 蔵書数 72,596冊 視聴覚資料 1,206点</li> <li>※毎月第4土曜日に島原図書館で開催している「郷土史を学ぼう会」の長年の取組が認められ、平成24年度島原半島文化賞を受賞した。</li> <li>※島原図書館が子ども読書活動の推進に努め、長年の活動が認められ、平成25年度読書活動優秀実践図書館として文部科学大臣表彰を受けた。</li> <li>・団体貸出や図書館遠隔地の学校への簡易移動図書館等を実施し、子ども読書活動を推進した。</li> </ul>
(5) 少年センター活動の推進	① 補導活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・68名の少年補導委員を委嘱し、毎月の定期補導活動に加え、長期休業中や市の行事における特別補導等、各地区で積極的、計画的に取り組んだ。年間の補導活動は161回、延べ639名の参加であった。</li> </ul>
	② 相談活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談業務においては、ポスターの掲示やチラシ等の配布を行い啓発を図った結果、12件(年間)の相談があった。</li> </ul>
	③ 環境浄化活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内3か所に設置した白ポストにより少年の健全育成に有害な雑誌やDVD等を毎月回収しており、年間218点を回収した。</li> <li>・立ち入り調査を年2回実施し、有害図書のある書店・コンビニやカラオケボックスなどを調査・指導した。</li> </ul>
	④ 地域啓発活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月1日のあいさつ運動は、各地区の社会教育団体と連携しながら、積極的に活動を行った。</li> <li>・各地区の社会教育団体と連携して、登下校における児童生徒の安全パトロールを実施した。</li> </ul>

## 3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点検・評価
	⑤関係機関等との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回実施している補導委員会の中で、島原警察署員及び県警補導員による講演を実施した。警察や学校との情報交換を行った。</li> </ul>
(6) 文化財の保護・公開・活用	①旧島原藩薬園跡の保存・公開・活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO法人島原薬草会や島原農業高校との連携により園内の管理や周知に努めた。</li> <li>・旧島原藩薬園跡出土の金属製品の保存処理を行った。</li> <li>・来園者の便宜を図るため駐車場を建設した。</li> </ul>
	②松平文庫の保存・公開・活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書籍の修復作業や来館する研究者、見学者及び郷土史等の調査依頼に対応した。</li> <li>・平成25年3月29日に、「肥前島原松平文庫」として長崎県有形文化財に指定された。</li> <li>・松平企画展を4回開催した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>「島原大変史料展」</li> <li>「史料が伝える日本史の出来事展」</li> <li>「絵図と文献にみる島原城の修補」</li> <li>「牛にまつわるエトセトラ」</li> </ul> </li> </ul>
	③文化財の保護	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開発行為対応のための埋蔵文化財発掘調査(5か所)を行った。</li> <li>・島原城石垣の現状把握のため、石垣台帳を作成した。(3年計画の1年目)</li> <li>・島原城御馬見所が国の登録有形文化財に指定された。</li> <li>・本市に所在する文化財の内容、所在地等を把握し、島原市文化財総合調査事業として「島原市の文化財」にまとめた。</li> </ul>

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

大項目		教育環境に関すること
中項目	小項目	点検・評価
(1) 学校施設の整備・充実	① 学校施設の整備	<p>・耐震診断の結果、補強が必要とされた学校施設については、計画的に耐震補強及び改築工事を実施し、平成24年度に耐震化を完了した。</p> <p>○実施状況</p> <p>(ア) 耐震補強工事 三小旧校舎改築(23～24年度) 三小多目的教室棟 二中技術室棟 三中技術室棟 有明中体育倉庫</p> <p>○耐震化率</p> <p>(ア) 島原市 100% (H25.4.1現在) (イ) 長崎県平均 83.0% (H25.4.1現在) (ウ) 全国平均 88.9% (H25.4.1現在)</p> <p>・危険性・緊急性・必要性等を考慮し、計画的な施設整備を行った。</p> <p>○実施状況(主なもの)</p> <p>(ア) 普通教室扉取替 一小 (イ) 旧校舎教室窓枠改修 三会小 (ウ) 放送設備改修 湯江小 (エ) 音楽室扉改修 一中 (オ) テニスコート改修 三中 (カ) バスケットコート修正 全中学校</p>
	② 教育設備等の充実	<p>・全小・中学校のパソコン室の教育用コンピュータをレンタルから買取に変更した。</p> <p>(平成23年度から3か年計画)</p> <p>※平成24年度は、小学校5校(三会小・長貫分校・大三東小・高野小・湯江小)の更新を行った。</p> <p>(購入台数 154台)</p>
	③ 給食施設等の充実	<p>・安全・安心な給食の提供のため、給食施設等の改善を図った。</p> <p>(ア) 給食用食器購入 二小・三小・四小・五小 (イ) 給食処理室クーラー取替 五小 (ウ) 給食配膳室床改修 一中 (エ) 給食配膳室床張替 三会中・有明中</p>

## 3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点検・評価																						
(2) 社会教育施設の整備・充実	①公民館の整備充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危険性・緊急性・必要性等を考慮し、計画的な施設設備の整備を行った</li> <li>○実施状況（主なもの） <ul style="list-style-type: none"> <li>(7)耐震補強工事 有明公民館</li> <li>(1)外壁塗装工事 白山公民館</li> <li>(7)欄干補修工事 森岳公民館</li> <li>(エ)調理室床修繕 杉谷公民館</li> <li>(ホ)電気陶芸窯の購入 杉谷・安中公民館</li> </ul> </li> </ul>																						
	②図書館の整備充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不具合のあった空調機器の修繕、書架等の購入により、必要な環境整備を行った。</li> </ul>																						
(3) 修学支援の実施	①奨学金制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・向学心があるにもかかわらず、経済的な理由により修学が困難な学生に対して、奨学金の貸し付けを行った。</li> <li>平成24年度 <table style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">貸与実績</td> <td style="padding-right: 10px;">39名</td> <td>8,775,000円</td> </tr> <tr> <td>償還実績</td> <td>136名</td> <td>11,940,500円</td> </tr> <tr> <td>未納額</td> <td>91名</td> <td>13,646,000円</td> </tr> </table> </li> </ul>	貸与実績	39名	8,775,000円	償還実績	136名	11,940,500円	未納額	91名	13,646,000円													
	貸与実績	39名	8,775,000円																					
償還実績	136名	11,940,500円																						
未納額	91名	13,646,000円																						
②就学援助制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済的な理由により就学困難な児童生徒の保護者に対して、学用品費、各学校行事活動費、学校給食費等の援助を行った。</li> <li>○準要保護認定状況（平成24年度） <table style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>小学校</td> <td>355名</td> <td>(認定率14.15%)</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>263名</td> <td>(認定率18.51%)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>618名</td> <td>(認定率15.73%)</td> </tr> </table> </li> <li>○就学援助費支給状況（平成24年度） <table style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>学用品費</td> <td>13,598千円</td> </tr> <tr> <td>社会科見学活動費</td> <td>92千円</td> </tr> <tr> <td>校外活動費</td> <td>391千円</td> </tr> <tr> <td>修学旅行費</td> <td>5,044千円</td> </tr> <tr> <td>医療費</td> <td>1,335千円</td> </tr> <tr> <td>学校給食費</td> <td>27,651千円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>48,111千円</td> </tr> </table> </li> </ul>	小学校	355名	(認定率14.15%)	中学校	263名	(認定率18.51%)	計	618名	(認定率15.73%)	学用品費	13,598千円	社会科見学活動費	92千円	校外活動費	391千円	修学旅行費	5,044千円	医療費	1,335千円	学校給食費	27,651千円	計	48,111千円
小学校	355名	(認定率14.15%)																						
中学校	263名	(認定率18.51%)																						
計	618名	(認定率15.73%)																						
学用品費	13,598千円																							
社会科見学活動費	92千円																							
校外活動費	391千円																							
修学旅行費	5,044千円																							
医療費	1,335千円																							
学校給食費	27,651千円																							
計	48,111千円																							

## 3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

中項目	小項目	点検・評価
	③東京学生寮	<p>・東京都内及び東京周辺の大学等で学ぶ学生の修学を支援するとともに、施設の整備を行った。</p> <p>(ア)平成24年度入寮者数 男10名、女7名、計17名 うち新規入寮者数 男 4名、女0名、計 4名</p> <p>(イ)寮費 1人部屋 月額9,450円 2人部屋 月額6,300円</p> <p>(ウ)食費 月額22,000円</p>